



# US Topics

April 9, 2009

PRICEWATERHOUSECOOPERS 

## ■ 目次

グローバルな景気後退の影響 —会計およびレポーティング上の考慮事項  
EITF Issue 07-5「ある商品(または組込商品)が会社自身の株式にインデックス付けられているかどうかの決定」の適用に関するDataLine  
FASBが公正価値測定および価値の下落に関する最終職員意見書を公表  
その他のFASB関連記事  
EITFが公開合意案に対するコメントを募集  
PCAOBが監査確認状に関する基準改定を検討予定  
FCAGIによる金融危機問題に関するインプット募集に対してPwCが回答

---

## ■ グローバルな景気後退の影響 —会計およびレポーティング上の考慮事項

グローバルな景気後退は、引き続き多くの業界に渡って経営に影響を与えています。企業は、難局を切り抜けるための自社戦略に従い、このような不確実な時期の財務報告上の影響への対応を継続していくことが重要です。いくつか例を挙げると—業務の再編成、資産の減損の可能性の評価、負債の借り換え、顧客へのインセンティブの提供、従業員に対する株式報酬契約の修正など—多くの企業が行っています。DataLine 2009-17では、プライスウォーターハウスクーパース(PwC)がグローバルな景気後退の影響について、企業が検討すべき会計および財務報告上のいくつかの重要な領域について論じています。

▼ CFOdirect NetworkのメンバーはこのDataLineの全文を以下のウェブサイトからご覧いただけます。

<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jpf?ContentCode=AALN-7QRQA3&SecNavCode=TMCB-4L9HAT&ContentType=Content>

---

## ■ EITF Issue 07-5「ある商品(または組込商品)が会社自身の株式にインデックス付けられているかどうかの決定」の適用に関するDataLine

PwC DataLine 2009-18 は、金融商品の会計的分類の決定において重要な問題である、株式転換金融商品(あるいは組込商品)が会社自身の株式にインデックス付けられているかどうかに対応した、新たに発効したEITF Issue No. 07-5のガイダンスの適用について論じたものです。たとえば、新しい規定では、一部の金融商品(または組込商品)に含まれる価格保護条項については、資産あるいは負債に再分類(または区分処理)し、損益計算書において時価評価による損益を計上することが必要となる場合があります。新ガイダンスは2008年12月15日より後に開始する会計期間(12月決算会社においては2009年第1四半期)の財務諸表から適用となります。

▼ CFOdirect NetworkのメンバーはこのDataLineの全文を以下のウェブサイトからご覧いただけます。

<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jpf?ContentCode=AALN-7QY2JM&SecNavCode=TMCB-4L9HAT&ContentType=Content>

---

## ■ FASBが公正価値測定および価値の下落に関する最終職員意見書を公表

本日(4月9日)、米国財務会計基準審議会(FASB)は二つのFASB職員意見書(FSP)を公表しました。これらは、(1)市場が不活発となり取引価格が投売取引を反映する可能性がある場合の金融商品の公正価値の測定、および(2)負債商品への投資における減損損失の計上、に関する問題点に対応したものです。また、FASBは期中財務諸表における特定の金融商品の公正価値の開示を求める第3のFSPの公表も行いました。

これらのFSPは、2009年6月15日より後に終了する期中および年度会計期間から適用となりますが、2009年3月15日より後に終了する期中および年度会計期間から早期適用を行うことも認められています。たとえば、12月決算会社の場合、2009年第1四半期の財務報告書への適用を選択することが可能です。

3つのFSPの全文は以下のFASBウェブサイトからご覧いただけます。

- FSP FAS 107-1 and APB 28-1「金融商品の公正価値についての期中開示」  
[http://www.fasb.org/pdf/fsp\\_fas107-1andapb28-1.pdf](http://www.fasb.org/pdf/fsp_fas107-1andapb28-1.pdf)
- FSP FAS 115-2 and FAS 124-2「一時的でない価値の下落の認識および表示」  
[http://www.fasb.org/pdf/fsp\\_fas115-2andfas124-2.pdf](http://www.fasb.org/pdf/fsp_fas115-2andfas124-2.pdf)
- FSP FAS 157-4「資産あるいは負債に関するアクティビティの量およびレベルが大幅に減少し無秩序な取引が認められる場合の公正価値の判断」  
[http://www.fasb.org/pdf/fsp\\_fas157-4.pdf](http://www.fasb.org/pdf/fsp_fas157-4.pdf)

---

## ■ その他のFASB関連記事

**会議の概要:** FASBの4月8日の会議では、(1)排出権取引スキーム、(2)FIN 46(R)の再検討について議論が行われました。

<http://www.fasb.org/action/sbd040809.shtml>

**次回の公開会議:** FASBは4月15日水曜日に会議を開催予定です。この会議の詳細については以下のFASBウェブサイトをご覧ください。

<http://www.fasb.org/calendar/index.shtml>

**プロジェクトの更新:** FASBは以下のプロジェクトの概要を更新しました。

- 金融商品 - 認識および測定の改善  
[http://www.fasb.org/project/fi\\_improvements\\_to\\_recognition\\_and\\_measurement.shtml](http://www.fasb.org/project/fi_improvements_to_recognition_and_measurement.shtml)
- 保険契約  
[http://www.fasb.org/project/insurance\\_contracts.shtml](http://www.fasb.org/project/insurance_contracts.shtml)
- FIN 46(R)の再検討  
[http://www.fasb.org/project/reconsideration\\_fin46r.shtml](http://www.fasb.org/project/reconsideration_fin46r.shtml)

---

## ■ EITFが公開合意案に対するコメントを募集

FASBの発生問題専門委員会(EITF)は以下の2つの草案概要に対するコメント募集を公表しました。これらの草案概要には3月19日のEITF会議における、以下の論点に関する公開合意案が含まれています。

- Issue No. 08-9「収益認識のマイルストーン法」  
<http://www.fasb.org/eitf/0809DA.pdf>
- Issue No. 09-1「転換社債発行の計画段階における自己株式貸出契約の会計処理」

<http://www.fasb.org/eitf/0901DA.pdf>

両方の文書に対するコメント募集は5月5日まで。

▼ 3月19日の会議の最終議事録は以下のFASBウェブサイトからご覧いただけます。  
[http://fasb.org/eitf/03-19-09\\_mtg\\_minutes.pdf](http://fasb.org/eitf/03-19-09_mtg_minutes.pdf)

▼ 3月19日の会議で議論された論点の概要については、PwCのEITF Observer をご参照ください。CFODirect Network のメンバーはこの記事の全文を以下のウェブサイトからご覧いただけます。  
<http://www.cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jpf?ContentCode=AALN-7QFKHA&ContentType=Content>

---

## ■ PCAOBが監査確認状に関する基準改定を検討予定

公開企業会計監視委員会(PCAOB)は4月14日火曜日に公開会議の開催を予定しています。この会議において、PCAOBは監査確認状に関する監査基準の想定し得る改訂についてのコンセプト・リリース公表を検討予定です。

▼ この会議への出席およびウェブキャストによる参加については以下のPCAOBウェブサイトをご覧ください。  
[http://www.pcaobus.org/News\\_and\\_Events/News/2009/04-09.aspx](http://www.pcaobus.org/News_and_Events/News/2009/04-09.aspx)

---

## ■ FCAGによる金融危機問題に関するインプット募集に対してPwCが回答

今週、PwCは、金融危機に関連する会計およびレポーティング上の問題点に関する情報や見解を得るための一連の質問について、金融危機諮問グループ(FCAG)が関係者にインプットを求めたことを受けて、これに回答を行いました。FCAGはFASBおよび国際会計基準審議会(IASB)に対し両審議会が対応すべき問題点についての助言を行うため、関係者から受け取ったすべてのインプットの検討を行う予定です。

PwCは、その回答の中で、金融危機のグローバルな影響および世界各国の金融機関への影響により、グローバルに適用が可能な、単一の高品質な会計基準の必要性が浮き彫りとなったと指摘しています。特に、PwCでは、FASBとIASBは、金融商品の会計処理(連結および認識の中止の関連分野を含む)に重要な差異が存在する領域において連携すべきだと考えています。

また、(投資家およびその他の資本市場における財務報告利用者に対する)財務報告と規制当局およびその他の公的機関への健全性の報告との役割の差を強調しています。PwCは最近の事象に応えた健全性規制の改善への動きを支持しているものの、規制規定が会計基準を左右するものであってはならず、財務報告の本来の目的を変更するようなものであるべきではないと考えています。

▼ PwCの見解についての詳細は、PwCのコメントレターの全文をお読みください。CFODirect Networkのメンバーはコメントレターの全文を以下のウェブサイトからご覧いただけます。  
<http://www.cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jpf?ContentCode=EDYR-7QUNRK&SecNavCode=ASPP-4MMPBR&ContentType=Content>

お問い合わせ: あらた監査法人(ブランド&コミュニケーションズ)

東京都千代田区丸の内1丁目5番1号  
新丸の内ビルディング32階(〒100-6532)  
電話: 03-6858-0179(直通)  
メールアドレス: aaratapr@jp.pwc.com

あらた監査法人は、世界 153 カ国に 155,000 人のスタッフを擁するプライスウォーターハウスクーパース(PwC)のメンバーファームです。PwC のメンバーファームとして、会計および監査において PwC の手法に完全に準拠した国際的なベストプラクティスを採用し、PwC のグローバルネットワークで培われた経験、専門知識、リソースを最大限に活用し、日本において国内企業および国際企業に対して、国際水準の高品質な監査を提供していきます。

© 2009 PricewaterhouseCoopers Aarata. All rights reserved. "PricewaterhouseCoopers" refers to PricewaterhouseCoopers Aarata or, as the context requires, the PricewaterhouseCoopers global network or other member firms of the network, each of which is a separate and independent legal entity.